

# 1 2015 年度事業報告

自 2015 年 7 月 1 日 至 2016 年 6 月 30 日

- 【真宗保育理念】** 「本願に生き、ともに育ちあう保育」  
**【総合テーマ】** 「ともに生きともに育ちあう保育を実践しよう」  
**【事業総括】**

2015 年 4 月、国の「子ども・子育て支援新制度」が始まり、幼稚園、保育園、認定こども園が混在し加盟している当協会の事業においても、「児童福祉」「保育」「幼児教育」がキーワードとなった。

また、2014 年度の第 7 回保育心理研究会（2014 年 12 月 14 日開催）の「乳幼児期の教育・保育を考える研究発表」の中でも今後大きく変わっていく小学校以上の教育を見据え“今一度、「子どもをみるということ」の真の意味が問われている”と課題が提起された。これまでの真宗保育の実践では「教育」という言葉を見直すことは希薄であったが、学校教育・五領域という範囲に留まらない「幼児教育」の本質を見据えた「教育としての真宗保育の実践」という新たな視点の必要性を実感し、その模索を始めたところである。

2015 年度の重点施策に関する活動報告は以下のとおりである。

## 【重点施策】

### ① 新制度のうごきを見据えた真宗保育の実践の具体化

「幼保連携型認定こども園」を“教育機関”及び“児童福祉施設”の双方を兼ねた施設とし、国はこの施設類型への移行を推進する立場を取っている。このことは将来的な児童福祉施設や幼児教育機関の在り方のみならず、子どもたちが育っていく環境全体に言及する大きな変化であることを共有した。

子どもたちの“最善の利益”とは何か。今や、保育と幼児教育の比較や対抗意識の問題ではなく、新制度のスタートを機に真宗保育の実践において保育内容のみならず生活環境面をあらためて確かめる必要性を実感することとなった。

基礎研究の成果として、『真宗保育カリキュラム vol. 3』が完成し、前 2 巻とあわせて普及につとめたが、真宗保育の実践が、園の仏教行事の持ち方という受けとめにとどまることなく、子どもの生活全体を視野にした保育実践として、更なる研究が必要であろう。

### ② 新たな研修テーマ「そだつ」による事業の開始

第 16 回全国真宗保育研修大会（2015 年 7 月 18～19 日：福岡市で開催）において、前テーマの総括とともに新テーマ「そだつ」を発表し、協会HPや機関紙などを通じて周知した。さらに協会主催、または各連区、支部の研修などでこのテーマに基づく研修の奨励を行った。

あわせて、子どもたちや職員に直接研修テーマを感覚として感じ取ってもらう取り組みとして立ち上がった「こどものうた」事業は、第 2 期の制作を行った。同テ

ーマ「そだつ」で歌詞を募集し、受賞曲 3 曲の決定後は、協会HPや機関紙などで普及を継続している。

③ 「保育心理学会」(仮称) の設立に向けた取り組みの促進

今年度の事業計画においては、早期に保育心理学会(仮称)の設立をめざす方向にあったが、新制度によって、幼児教育が注目されている現状から、調査研究を継続することとなった。

保育心理の学びが、学術的な研究の広がりや保育者のキャリアアップに結び付くよう取り組みをすすめていく。

## I 幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）

### I-1 調査研究事業

真宗保育の実践が、実際の保育現場での共通理解において行われるよう、その表現の仕方、その課題の深め方について調査研究を行った。

また、この研究結果を頒布事業、研修事業、資格認定事業に反映し、各事業の論理的な整合性を図った。

#### (1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識研究者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、体系を整え、保育、子育てにかかわる人々への普及を促進する事を目的に「真宗保育理念構築会議」「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。

今年度は2016年3月に「真宗保育カリキュラム」vol.3を発行した。

『真宗保育カリキュラム vol.3』

発行部数：2,000部

内容：真宗保育の組み立て方に対する視点、発達へのまなざし、現代の保育実践をめぐる諸問題(保護者支援の視点から)

付録：バインダー表面貼付用『真宗保育カリキュラム』ラベルシール同封

価格：1,000円

【真宗保育理念会議】会場：大谷大学

2015年9月14日、2016年1月25日、3月2日

【真宗保育研究所会議】会場：大谷大学

2015年12月18日

- ② 真宗大谷派学校連合会大学部会による「真宗保育研究会」に当協会の担当者及び研究所員が参画し、研究会の運営と内容の探求につとめた。

期間：2016年2月1日（月）～2日（火）

会場：真宗教化センター しんらん交流館

講師：鯨岡峻氏（中京大学心理学部客員教授）

中川皓三郎氏（前・帯広大谷短期大学長）

実践報告：金本 めぐみ氏（福井支部・大野幼稚園）

中嶋 房子氏（久留米支部・松原保育園）

出席者：脇淵徹映、朝倉益光、藤兼量、中嶋顯眞、鷹橋賢淳

#### (2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることを鑑み、保育心理士の学問的根拠を明

確し、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を昨年度に引き続き実施した。  
その土壌育成のため第8回保育心理研究会を開催した。

・第8回保育心理研究会

期日：2015年12月20日（日）

会場：大谷大学

講師：藤森 平司氏（新宿せいが保育園長）

テーマ：子どもたちの未来に今私たちができること

分科会

	テーマ	発表者	アドバイザー
A	未就園児の気になる親子の事例 (親子講座において)	赤松美奈子氏 (家庭教育講座講師)	角田春高氏 (育て直し・育て直り実践アドバイザー)
B	子どもへの関わり、保育士同士の連携について	岩倉桂子氏 (フリー保育士)	佐賀枝夏文氏 (大谷大学名誉教授・高倉幼稚園園長)
C	障がいのある子どもとその保護者の支援	藤川智恵美氏 (NPO 法人子育て支援寺子屋ぴあ理事長、障がい児通所施設放課後等デイサービスぴあ・児童発達支援ぴあ児童発達支援管理責任者)	牧野桂一氏 (大分子ども発達支援研究所長・保育心理士会代表)

② 保育相談及び育成指導

研究事業及び研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び・保育者の育成指導に資するための機関誌を発行した。

## I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業及び研修事業、認定事業の成果をもとに、子どもが安心して生活できる保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修等を活用して頒布に努めた。

また、園児絵画展の出展作品の中から「しんしゅうこどもかれんだー」を製作し、保育者の質の向上に資する教材として「真宗保育カリキュラム vol. 3」を発行し頒布を行った。

### (1) 保育教材の頒布

#### ① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行った。

※2016年6月末時点（2015/7/1～2016/6/30）

教材・物品名	価格	原価	頒布数	在庫数
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	517	399
うでわ念珠 青 子ども用	150 円	124 円	3,987	1467
うでわ念珠 青 大人用	150 円	134 円	3,110	1366
うでわ念珠 ピンク 子ども用	150 円	124 円	2,417	2522
うでわ念珠 ピンク 大人用	150 円	134 円	1,604	2065
念珠	120 円	105 円	1,852	516
念珠袋	280 円	235 円	2,137	217
(内 念珠・念珠袋セット)	—	—	—	—
おつとめちょう	100 円	40 円	2,080	3793
真宗保育者手帳	500 円	480 円	53	143
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	50	560
八女ちょうちん	180 円	107 円	563	—
こどもニュース7	400 円	87 円	—	—
しんしゅうこどもかれんだー	280 円	205 円	6,897	603
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	10	865
真宗保育カリキュラム vol. 1	1,500 円	1,827 円	160	456
真宗保育カリキュラム vol. 2	1,000 円	859 円	312	1308
真宗保育カリキュラム vol. 3	1,000 円		315	1689
こどものうた①「誕生」CD	500 円	258 円	47	136
2. アイヌ民族文化と子育て	280 円	200 円	6	326
3. 本当に大切なこと（一楽真）	280 円	105 円	61	406
4. なぜ浄土なのだろうか（中川皓三郎）	240 円	115 円	69	242
5. いのちの教育のすすめ（田代俊孝）	240 円	145 円	31	754
6. 真宗保育の名で育てたい子ども・人間（加藤守孝）	220 円	134 円	35	786
7. あそび（宮城顛）	220 円	127 円	151	989
8. 敬うとは何か（加藤祐伸）	240 円	138 円	38	1115
9. 宗祖としての親鸞聖人に会う（池田勇諦）	100 円	50 円	159	940
10. 真宗と保育（一楽真）	280 円	105 円	50	841
11. いのちありがとう（真城義麿）	240 円	151 円	137	1225
12. 誕生（三明智彰氏）	220 円	110 円	759	1029

13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀氏）	250 円	160 円	1,002	612
------------------------	-------	-------	-------	-----

(2) 新教材の発行

① 『真宗保育カリキュラム vol.3』

発行月：2016年4月

発行部数：2,000部

内容：真宗保育の組み立て方に対する視点、発達へのまなざし、現代の保育実践をめぐる諸問題(保護者支援の視点から)。

付録：①バインダー用シール

②vol.1~3の総目次

価格：1,000円

【しんしゅうこどもカレンダー作成にかかる会議】

かれんだー掲載絵画選定：2015年11月19日（木）

トリミング：2016年2月17日（水）

色校正：2016年5月11日（水）

【出版部会】会場：真宗大谷派宗務所

2015年10月29日（木）《広報部会と同時開催》

## Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

### Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、幼児教育及び保育関係者の資質向上を目指し、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・新たな視野を発見することにより、子どもが安心して生活できる保育の実践に望めるよう研修内容をより深める取り組みをすすめた。

また、第16回全国真宗保育研修大会（福岡）において、2011年度より4年間研鑽してきた研修テーマ「誕生」の総括並びに、新テーマ「そだつ」を提案し、テーマの周知と各支部でのテーマに基づく研修の奨励を行った。

「誕生」を通して、あらためて受けとめさせていただいた、人間が生きていくうえで最も大切な「いのち」、その「そだついのち」に、どう関わっていくのか。

「寄り添うとは」「主体性のそだちとは」など、研修を通して学び、すべての保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努めた。

#### (1) 研究会・研修会事業

##### ① 第16回全国真宗保育研修大会（運営：九州連区 事務局：久留米支部）

（対象） 協会加盟園保育従事者・保護者・保育に関心のある方

（期間） 2015年7月18日（土）～19日（日）

（会場） ホテルオークラ福岡

（テーマ） 「誕生」-うまれて、生きるって、すばらしい-

（講師） 【基調講義】 吉元信暁氏（九州大谷短期大学仏教学科准教授）

##### 【パネルディスカッション】

パネラー： 吉元信暁氏

脇淵徹映氏（大谷保育協会理事長）

中嶋房子氏（久留米支部松原保育園保育士）

コーディネーター： 高山 耕氏（大谷保育協会研修部副部長・日豊支部みのり保育園園長）

【記念講演】 芹沢俊介氏（評論家）

（参加者） 380名

##### ② 新任研修会

（趣旨） 新任職員が園に従事して持つ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えようとする意義を知る。

（対象） 1年目の保育者

（期間） 2015年10月23日（金）～25日（日）

（会場） 宗務所・大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス

（テーマ） そだつ

（講師） 藤元 雅文氏（大谷大学短期大学部講師）

（参加者） 23名

##### ③ 第59回仏教保育大学講座（真宗十派共催・本願寺担当番）

誰しもが数年、保育を経験すれば自分の保育に対して限界やさまざまな悩みが生じる。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる。

少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めた。

(対象) 2年目以上の保育者

(期間) 2015年8月1日(土)～4日(火)

(会場) ホテル「洛兆」・龍谷大学

(講義) 季平 博昭氏(本願寺派法光寺住職・法光寺心理相談室カウンセラー・龍谷大学非常勤講師)

(講師指導) 萬田 一樹氏(相愛大学講師・おんぷっち保育園理事長)  
辻 志穂氏(高倉幼稚園教諭)

(参加者) 118名

④ 第59回仏教保育大学講座反省会

(期日) 2015年10月14日(水)

(会場) 浄土真宗本願寺派伝道本部

(参加者) 仏教保育大学講座指導員・生活指導員

⑤ 第60回仏教保育大学講座企画検討会

(期日) 2016年3月16日(水)

(会場) 浄土真宗本願寺派伝道本部

⑥ 主任・中堅保育者研修奉仕団

保育を実践していくうえで、主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。同朋会館を会場に、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を現場保育者に伝え実践していくことを確認した。

(対象) 主任・中堅保育者(保育経験5年以上)

(期間) 2016年6月11日(土)～13日(月)

(会場) 東本願寺同朋会館

(講師) 佐賀枝夏文氏(高倉幼稚園園長)

(テーマ) そだつ

(参加者) 16名

⑦ 表現研修会 兼 東京支部真宗保育研修会

日常の保育活動(身体表現、言語表現、絵画表現など)が、人間存在の表現としてどのように展開されていくか、各々の活動の理論を聞き深め、実践をとおして体感する。なお、今年度は東京支部研修会と合同で開催した。

(対象) 保育者

(期間) 2016年5月21日(土)～22日(日)

(会場) 東本願寺「真宗会館」、ホテルカデンツァ光が丘

(講師) 脇淵爾良氏(和歌山県橋本市・三石保育園 主任保育士)



(内容)「積木遊び」を通して「育つ」ということを考える  
(参加者) 70 名

- ⑧ 支部と共催し全国各地で大乗仏教の精神に基づいた子育て支援及び保育に関する研修を開催した。開催にあたっては「そだつ」というテーマ設定のもと研修を行っていただけるよう働きかけた。

連区 (3) 東北・東海・九州

支部 (19) 北海道・奥羽・仙台・東京・三条・高田・富山・高岡・能登・金沢・岡崎・名古屋・三重・大阪・山陽・久留米・長崎・熊本・鹿児島

- ⑨ 仏教保育研修協賛

(公社) 日本仏教保育協会の協賛

・2016年2月4日(木)開催の「関西地区連絡協議会」に事務局長が出席した。

#### 【研修部会】

2015年9月7日(月)

2016年4月11日(月)

## Ⅱ-2 資格認定事業

今年度は、沖縄開教本部と連携して「保育心理士資格紹介講座」を開催し、沖縄の地での「真宗保育」の実践の足掛かりとなるよう取り組んだ。

また、養成講座講師の発案により、新たな取り組みとして保育心理士(2種)資格取得者に1種資格への切り替えを促すためのつどいを開催した。

なお、養成講座の受講料を改訂し、加盟園所属者受講料(1日受講のみ)を新たに設定した。2015年度新規養成校：東亜大学(山口県)

【保育心理士会員数】1種：2133名、2種：399名(2016年6月末現在)

【保育心理士(2種)養成校】7校

九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、名古屋経営短期大学、青森明の星短期大学、飯田女子短期大学、子どもと保育研究所 ぷろほ

### (1) 保育心理士養成講座

【本部主催分】※受講者数は最大数

- ① 京都会場【会場：真宗教化センター しんらん交流館】

第15期保育心理士養成講座《第1～4、認定式日程》

期 間 2015年8月19日(水)～23日(日) 受講者：92名

- ② 九州会場【会場：九州大谷短期大学】

《第1・2日程》 2015年7月4日(土)～5日(日) 受講者：35名

《第3日程》 2015年11月15日(日) 受講者：38名

《第4・認定式日程》 2016年1月30日（土）～31日（日）受講者：23名

- ③ 東京会場【会場：求道会館／親鸞仏教センター（東京都文京区）】  
 《第3・4日程》 2015年7月11日（土）～12日（日）受講者：35名  
 《認定式日程》 2015年11月14日（土）受講者：30名  
 《第1・2日程》 2016年6月25日（土）～26日（日）受講者：47名
- ④ 名古屋会場【会場：同朋大学】  
 期日 2015年7月25日（土）受講者：18名  
 11月7日（土）受講者：14名  
 12月5日（土）受講者：16名

(2) 保育心理士フォローアップ講座

保育心理士資格は5年間の有期資格であり、その資格更新のためにフォローアップ講座を開催した。

期日：2015年11月14日（土）

会場：求道会館 講師：牧野桂一氏（筑紫女学園大学教授）

(3) 連区、支部研修会での単位取得講座、フォローアップ講座の開催

「保育心理士養成講座」及び「フォローアップ講座」を全国規模で展開するため、連区、支部とも共催して行った。

【連区・支部研修会】

支部・連区	開催期日・期間	
	養成講座	フォローアップ講座
東北連区		
東海連区		
九州連区		
三条	2016/1/23-24、5/28-29、7/2-3	
高田		2015/10/17
岐阜		
岡崎		2016/1/9
名古屋		2015/9/12、2016/2/27
山陽	2016/2/13、5/14	
日豊		2016/1/13

【エリア】

エリア	開催期日・期間	
	養成講座	フォローアップ講座
札幌	2015/8/8-9、10/24、12/5	
仙台	2016/6/11-12	2016/6/11-12
岐阜	2015/8/1、9/19、10/31、11/14、 2016/6/18	
愛知		2016/1/20

奈良		2015/9/4、11/16
兵庫		2015/11/15、2016/1/19
東京		2016/6/24
広島		2015/7/25
香川		2015/7/24、7/26、9/19、10/23、10/25、11/28、2016/5/8、6/4、7/24、9/17、10/23、11/26
大分		2015/9/1、12/1、2016/5/31
福岡	2016/6/25	2015/7/10
長崎	2015/7/12、2016/2/7、6/18-19	2015/7/11
熊本	2015/7/25-26、2015/10/24-25	2015/7/26、8/8-9、9/13、10/25、2016/6/26
宮崎		2015/7/11、11/1
鹿児島	2015/11/29、2016/5/22、5/29	2015/7/1、8/8、8/10、10/2、2016/5/22

#### (4) 「保育心理士資格紹介講座」の開催（沖縄）

年少人口率が全国一でありながら仏教系の幼稚園・保育園が皆無に近い沖縄の地で「真宗保育」が広く実践されることを願い、沖縄の保育者に保育心理士の役割について紹介し、保育心理士資格取得について奨励した。

期日：2016年2月14日（日）

会場：東本願寺沖縄別院

講師：那須信純氏（保育心理士会主幹・栃木県 烏山保育園園長）

宮城真弓氏（保育心理士1種・てだこ保育園勤務）

参加者：27名

#### (5) 保育心理士会員への情報提供に向けたシステム構築作業

従来、保育心理士のフォローアップポイントの管理については、エリアマネージャーからの講座参加者名簿の報告を受けて事務局がポイント入力をするという、煩雑な事務の流れで行ってきたことから、正確なポイント管理が難しい状況にあった。

この状況に鑑み、事務局で保有する保育心理士の会員情報をWEBで管理する「保育心理士会員管理システム」の構築作業に着手し、2016年7月の稼働に向けて会員情報の整理やシステム開発業者との打ち合わせを行った。

また、保育心理士への情報提供サービスとして、会員情報やフォローアップポイント等をタブレット端末やパソコンから確認できる「保育心理士会員専用サービス」、

及び、保育心理士の活動に有用な情報の発信及び共有を目的としたモバイルサイト「保育心理士 ON LINE」（仮称）の整備を、2016年7月稼働に向けて行った。

## (6) その他

### ① 認定に関する諸会議

#### 【保育心理士認定委員会】

案件ごとに随時開催した。

#### 【保育心理士会集会】 第8回保育心理研究会と併催

期日：2015年12月20日（日）

会場：大谷大学

#### 【保育心理士講師集会】

案件ごとに随時開催した。

#### 【保育心理士会幹事会】

期日：2015年7月2日（木）

会場：真宗大谷派宗務所

#### 【エリアマネージャー会議】

期日：2015年12月19日（土）

会場：真宗大谷派宗務所

### ② 保育心理士（2種）養成校との協議会

期日：2016年2月20日（土）

会場：真宗大谷派宗務所

※養成校7校中、5校出席

### ③ 保育心理士2種をつどい

期日：2016年6月19日（日）

会場：同朋大学

目的：保育心理士2種資格取得者に対して1種資格への切り替えを促す

主催：目黒 達哉氏（同朋大学教授・保育心理士養成講座認定講師）

対象：東海地方の2種養成校（同朋大学・名古屋経営短期大学）において保育心理士（2種）を取得し、3年の実務経験を終えた方（対象者10名）

参加者：2名

### Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等の子育てにかかわる人、保育団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を担った。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

#### (1) 機関紙等の頒布

保育・幼児教育関係諸団体、保護者、関係官公庁、会員に頒布した。

##### ① 月刊誌「真宗保育」第395～406号発行し頒布した（頒布数：4469部）。

「巻頭コラム」は、常務理事が担当し、保育現場での現状や課題などについて執筆した。

また、幼児関係者からの寄稿「子どもたちの今」については、2015年度は藤本芳則氏、太田智子氏、グラバア・俊子氏、渡邊陽子氏、勝浦眞仁氏の各氏に依頼した。

##### ② 「こどもニュース7」第10号を発行した。

2015年8月発行 テーマ：「そだつ」

対象を青少幼年層に広げ、加盟園のみならず、寺院教会の子ども会等での浸透を図る。

##### ③ 機関誌「ほいくしんり」（大谷保育協会編、エイデル研究所発行）を頒布した。第9号（2016年5月発行）

#### (2) 協会ウェブサイト ホームページの運営

「こどものうた」（第2期）募集をはじめ、保育心理士養成講座や各種研修会等の案内、協会発行の教材や協会関係者の出版物の広報等、適時情報発信を行った。

#### (3) 園児絵画展

全国の大谷保育協会加盟園と京都市内の幼稚園・保育園から子どもたちの絵画を公募し、出品作品を京都駅地下や真宗本廟（東本願寺）に展示し、不特定多数の方々にご覧いただくとともに、情操教育の基礎となる仏教（真宗）精神を公開した。

期 間 2015年11月13日（金）～12月1日（火）

会 場 真宗本廟（東本願寺）および京都駅前公益地下ギャラリー

応募点数 77園 387点

#### (4) 第2期「こどものうた」募集・製作事業

2023年の宗祖親鸞聖人御誕生850年をお迎えするにあたって、大人と子どもがともに口ずさめる「うた」の形で研修テーマを保育現場に普及させる取り組みとして、2013年度より「こどものうた」制作事業を展開している。2015年度からの第2期募集では「そだつ」をテーマに歌詞の一般公募を行った。熱い思いのこもった315作品の応募があり、3名の選考委員により次の3作品の受賞が決定した。

#### 【公募概要】

第2期募集テーマ：そだつ

募集期間：2015年8月1日～2016年1月31日

(応募締切を11月30日から2ヶ月延長)

選考委員：中川ひろたかさん(絵本作家、シンガーソングライター)

木村雅信さん(作曲家)

萬田一樹さん(相愛大学音楽学部声楽専攻講師)

応募総数：315作品

【発表期日】2016年5月16日

【受賞作(作品名・受賞者名)】

最優秀賞 「大きくなって やさしくなって」(渡辺英雄さん 愛知県)

優秀賞 「そらにむかって」(井元仁江さん 熊本県)

「ひまわり」(壬生健太さん 長野県)

【選考経過】

2016年2月29日(月)：協会内1次選考(315通→125通まで選考)

2016年3月22日(月)：協会内2次選考(125通→52通まで選考)

2016年3月24日(水)：選考委員に最終選考作品3曲を選定依頼

#### (5) リーフレット等の啓発誌頒布

今年度は、保育心理士資格の認知度向上と資格取得者数の増加を図るため、全国の保育施設(約11,000件)に保育心理士に関するリーフレットと保育心理士養成講座の開催要項を送付した。

また、継続して保育心理士に関するリーフレットを加盟園及び行政、全国の教諭・保育士養成校に頒布し、「保育心理士」の名称や役割、機能などの周知徹底に努めた。

#### (6) その他啓発事業

① 「東本願寺お買い物広場」において各種教材の頒布を行った。また、リーフレットを全寺院・教会に配布した。

② 「子どもの森づくり運動」への参加

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、子ども達の森づくり運動への協力団体としてに希望園が参画し、自然保護の意識高揚に努めた。(現在、8カ園の加盟園が参加している)

③ 熊本地震への支援対応

2016年4月14日以降に発生した「熊本地震」を受けて、熊本支部全25カ園に対し地域への支援物資(菓子・飲料)を送付した。また、4月26日付で全加盟園に宛てて義援金の勧募を依頼した。

#### IV 加盟園交流事業(相互扶助等事業)

協会の活性化のために加盟園交流研修会において、全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行った。

**(1) 人材発掘のための取り組み**

人材プール機構の設置

支部長連絡会などの機会に、協会事業へ参画していただく人材の推薦を呼びかけた。

**(2) 加盟園交流・研修会**

(趣旨) 協会やそれぞれの園、地域を取り巻く時代環境の情報を交換する。また、講演、加盟園訪問などを通して真宗保育理念を確認し共有する。

(期間) 2016年2月8日(月)～9日(火)

(会場) ①鹿児島別院

②朋保育園(大谷保育協会加盟園・宮崎県小林市)

(テーマ) 目に見えない保育環境

(講師) 川井敬二氏(熊本大学大学院自然科学研究科准教授)

「子どもを育む空間のための『音と響き』の調整  
～建築音響からみた保育環境の現状と展望～」

(参加者) 38名

**(3) 全国別院幼保施設長協議会**

全国別院関連の幼稚園・保育園の園長・設置者を対象とし、今後の法人運営や子ども子育て支援新制度施行に向けて、情報提供、意見交換を行う。

**※2015年度は開催なし**

**(4) 加盟園加入促進**

未加入の真宗大谷派関係幼稚園、保育園、こども園に働き掛け加盟園の増加に努めた。

**(5) 各種保育団体との渉外**

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との情報交換に努めた。

**(6) 真宗大谷派青少年センターとの情報交換**

「こどものうた」制作を通して、宗門の子どもに関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

**(7) 立体紙芝居「しんらんさま」の贈呈**

2011年に復刻された立体紙芝居「しんらんさま」について、発行元の(株)法藏館より無償贈呈の申し出があったため、大谷保育協会内各所及び真宗大谷派関係学校に送付した。

**(8) その他事業**

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園より報告を受け感謝状を送った。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送った。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送った。

【組織部会】※「こどものうた」関連

期日：2016年2月29日（月）※協会内1次選考

期日：2016年3月22日（月）※協会内2次選考

期日：2016年6月30日（木）※CD化に向けた会議



## V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し、組織運営の充実を図り運営の安定と活動を支えるとともに、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）をWEBを中心に適時公開した。

### (1) 管理業務の遂行

物品販売作業の軽減（特に請求書・領収書発行作業、在庫管理）を図るため、販売管理システムを活用した。

### (2) 常務理事会に関する事項

（期日）2015年10月13日（火）、2015年12月21日（月）

### (3) 役員会等に関する事項

#### ① 理事会に関する事項

ア. 第8回（事業報告・決算承認）

期 日 2015年8月26日（水）

会 場 宗務所

イ. 第9回（次年度予算・事業計画）

期 日 2016年5月18日（水）

会 場 宗務所

#### ② 総会

第4回（事業計画、予算報告・事業報告、決算承認・理事選出）

期 日 2015年9月10日（木）

会 場 宗務所

### (4) 諸会議に関する事項

#### ① 正副部所長会

期 日 2016年4月21日（木）

会 場 宗務所

年間活動計画の策定と活動状況の報告を行った。

#### ② 総務部会に関する事項

期 日 2015年7月29日（火）、2015年12月11日（木）、2016年3月9日（月）

### 事業報告の付属明細書

該当事項はありません。